

システム情報工学研究科修士論文概要

年 度	平成 27 年度	学位名		修士(工学)
専 攻	知能機能システム	専攻	著者氏名	太田 祥一郎
指導教員氏名 星野 准一				
論文題目				
AniReco: ユーザの好みを反映させたアニメ作品推薦システム				
論文概要				
<p>近年、日本のテレビアニメは年間 200 本を超え膨大になっており、それに伴いグッズや CD などを含めた産業市場が拡大し約 1.5 億円にもなる。また、クールジャパン戦略をはじめとした海外への影響も見られる。しかし、発展を遂げるにつれ作品数は増え、多くの作品の中から自分の好みに合ったものを見つけることは困難になっている。また、自分は何が好みかを自覚していないこともあると考えられる。加えて、作品の発展とともに拡大するグッズや CD、聖地巡礼などの関連コンテンツを横断的に提示してくれる仕組みがなく作品と結びつけて把握することが困難となっている。</p> <p>本稿ではこれらの問題点を解決するためユーザの潜在的嗜好(ユーザが自覚していない好み)を反映しアニメ作品を推薦するシステム「AniReco」を提案する。ユーザの作品への評価とジャンルや声優等の作品情報の視聴回数を用いた内容ベースの推薦手法を用いる。これにより未評価、新規の作品であっても推薦可能となっている。ネットワーク図を用いた推薦マップを用いた提示により多くの作品の推薦度を視認しやすくしている。</p> <p>システム作成後 AniReco の利用性及び推薦内容の検証を目的とした評価実験を行った。評価はユーザアンケートおよび利用ログで行った。システム利用性について、推薦マップを用いた提示手法により多くの作品の中から推薦度の高い作品を容易に見つけることができる、新規発見へつながる、検索作業を必要とせず利用しやすいといった結果を得た。推薦内容は「正確さ、Novelty、Serendipity、Discovery ratio」について評価を行った。その結果、それぞれに改善の余地は見られるものの高評価を得た。しかし、関連コンテンツへの興味拡大への効果はよい結果が得られなかった。</p> <p>今後は嗜好分析計算の改良、推薦理由の提示やユーザの嗜好情報の提示などにより推薦内容評価で明らかになった改善点を修正していく。また、データ数やユーザ数を増やしユーザがアニメ作品をどのように選んでいるかといったユーザの視聴傾向の分析を行っていく。</p>				
審査日	平成 28 年 1 月 28 日			
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)	
主査	筑波大学 准教授	博士(情報科学)、 博士(デザイン学)	星野 准一	
副査	筑波大学 教授	博士(工学)	宇津呂 武仁	
副査	筑波大学 准教授	博士(工学)	延原 肇	